

自動車市場向け： ドライブシャフト耐久試験のご提案

自動車用の駆動系部品の性能評価試験に対応

車載用の駆動系部品（エンジン、モータ）などの性能を耐久評価する試験です。

試験対象のドライブシャフトを試験ボックス内に据付け、負荷モータを使用して駆動・出力回収を行い、トルク、回転数、耐久性などを計測します。

今回は、駆動系部品の温調試験が可能な温(湿)度供給装置：ASEシリーズをご紹介します。

特徴

● 試料を囲える試験ボックスを用意します

- ・ドライブシャフト、プロペラシャフトなどご要望に合わせた駆動系試料にあった試験ボックスを用意し、構造で試料を密閉し温(湿)度試験が可能です。
- ・モータを駆動させるシャフト用の貫通孔をご用意いたします。

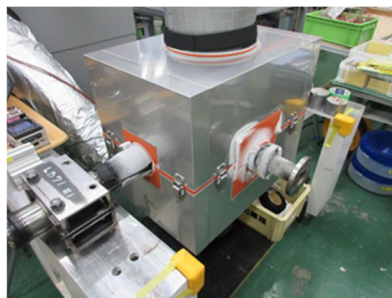
● 既存設備に後付けでご提案が可能です

- ・温度供給は無しでモータベンチ試験を行っておられるお客様に対し、既存のモータに合わせて柔軟に試験ボックスをご提案することが可能です。
- ・常温下での試験から環境試験を実施できる状況に変更が可能です。



ドライブシャフト

回転機構



低温耐久試験



温度サイクル耐久試験

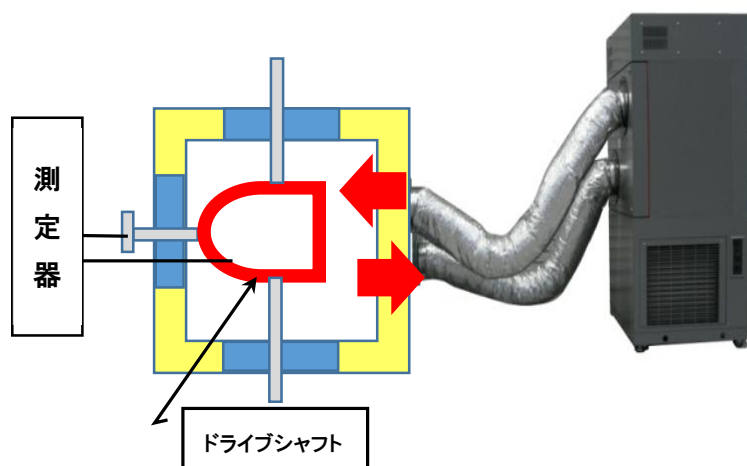
※写真はイメージです。

試験事例

試験名	試験条件	試験目的
ドライブシャフトの耐久試験	-40℃～+130℃	・エンジン部品の耐久試験
低温・高温 サイクル試験	-40℃～+120℃	・低温と高温のサイクル試験で環境温度変化をさせて耐久試験を実施する

ASE_温湿度供給装置 ラインナップ一覧

型式	ASE-202	ASE-502	ASE-702	ASE-802
温度範囲	-30℃～+100℃	-40℃～+100℃	-30℃～+150℃	-40℃～+150℃
温度上昇 時間	+20℃～+100℃ 30分以内	+20℃～+100℃ 30分以内	+20℃～+150℃ 50分以内	+20℃～+150℃ 50分以内
温度下降 時間	+20℃～-30℃ 70分以内	+20℃～-40℃ 70分以内	+20℃～-30℃ 60分以内	+20℃～-40℃ 60分以内
処理風量	8m ³ /分	8m ³ /分	8m ³ /分	8m ³ /分
外形寸法 WHD(mm)	850×1625×850	1070×1790×900	1470×1965×1400	1470×1965×1400
最大消費 電力	5.7Kva	7.7KVA	12.0KVA	16.0KVA



- * 仕様の詳細につきましては、カタログ情報をご確認ください。
- * ご不明点は営業担当者までお問い合わせください。

エスパックサーマルテックシステム株式会社

本社

住所：埼玉県戸田市美女木東 1-2-15

TEL：048-423-1800 FAX：048-423-1801

神戸事業所

住所：兵庫県神戸市東灘区御影石町 1-6-6

TEL：078-856-5181 FAX：078-856-5186

- 各営業所へお問い合わせください。
- 本リーフレットに掲載のサンプルはイメージです。
- 製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

LEAF0730 No. TTS_20250731J (2025年7月現在)